

1. 科目名 (単位数)	社会教育計画 (2 単位)	3. 科目番号	SSMP3444
2. 授業担当教員	栗山 究		SCMP3444
4. 授業形態	講義と討議、演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	本科目は、文部科学省令で定められた大学における社会教育主事資格課程の必修科目の一つ（令和元年度までの旧課程の受講生を対象）であり、他の社会教育主事資格課程科目の基礎編に位置づけられる。受講に際しては「生涯学習概論」を修得済であることが望ましい。		
7. 講義概要	急速な社会の変化に伴い、人々の生活や価値観も多様化し、生涯学習の振興や社会教育支援の在り方も大きく様変わりしている。地域における住民の学習や活動の拠点である社会教育施設も、指定管理者制度の導入など民間の活力を導入した施設へと移行している。社会教育を推進する中心的な役割を負っている社会教育主事は、生涯学習、社会教育に関する基礎知識を身につけるとともに、時代の変化に柔軟に対応できる問題解決能力や先見性、創造性、コミュニケーション能力等が求められるようになってきている。そこで、本科目では社会教育計画（個別事業計画）の策定を通して、社会教育主事としての資質を育成するとともに、社会教育事業の推進計画である社会教育計画及び社会教育行政の役割について理解を深める。		
8. 学習目標	次の目標を達成できることを目的とする。 ①社会教育の現状把握を通して、社会が抱える今日的課題について理解することができるようになる。 ②社会教育計画を策定する意義を理解し、策定の必要性を述べることができるようになる。 ③社会教育計画の種類、内容の学習を通して、策定に当たっての手順・方法を理解することができるようになる。 ④社会教育における施設や職員の専門性、及び対象となる学習者の特性を理解することができるようになる。 ⑤今日的課題の特徴を理解し、課題解決のための社会教育計画（個別事業計画）を策定することができるようになる。		
9. アサシメント（宿題）及びレポート課題	本授業では、①自分の暮らすまちの社会教育計画調査報告（個人作業）、②検討事例とする基礎自治体の社会教育計画調査（担当教員と協働したグループ作業）、③期末課題に向けた計画立案と作成（ハンドブック作成等のグループ作業）、以上3点の作成・報告および提出が課題となる。 作成に際しては、受講者各自が対象とする社会教育計画に関する資料を収集し、調査と研究の時間が必要となる（社会教育職員・学習者インタビューを含む現地見学・現場訪問を含む）。②③は、上記に加えて、グループメンバー相互の話しあい学習にもとづいて、自ら授業計画を策定・実行していく知恵と技術が求められる。授業内容や討議・演習（社会教育職員・学習者インタビューを含む現地見学・現場訪問を含む）で気づいたことを自分なりにふりかえる時間を自覚的に作り、配布資料は各自でファイルなどを用意してまとめておき、予習と復習に活かしてほしい。 なお、グループ編成ができないほど受講生が少人数の場合は、③は担当教員と相談のうえ、再検討していくこととする。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】各回の授業内において適宜紹介していく。 【参考書】辻浩・片岡了編『自治の力を育む社会教育計画一人が育ち、地域が変わるために』国土社、2014年。辻浩『現代教育福祉論—子ども・若者の自立支援と地域づくり』ミネルヴァ書房、2017年。国立教育政策研究所社会教育実践研究センター編『社会教育計画ハンドブック』2009年。 【教材】プリント資料、コメントペーパー（各回授業に応じて、担当教員が作成・編集した資料を配布する）		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 社会教育に関する政策及び計画プロセスについて深く理解し、説明できる力を身につけたか。（知識・理解） 2. 社会教育に関する現代的課題について関心を持ち、地域の実情をふまえた社会教育計画の立案・策定ができる力を身につけたか。（思考力・判断力・表現力） ○評定の方法 【授業への取り組み姿勢、授業内での課題提出、期末レポート等を総合して評価する。】 1. 授業への取り組み姿勢 総合点の30% 2. 授業内での課題提出（課題レポート・企画書作成等） 総合点の40% 3. 期末課題（計画の立案・策定及び発表） 総合点の30%		
12. 受講生へのメッセージ	(1) 本授業は、主として演習形式で展開するので、授業内容の理解は、毎回の授業（演習）に連続して出席することでより深まります。授業展開の建付けをしっかりと理解し、各種課題は計画的に仕上げ、正当な理由なしの欠席や遅刻は控え、自ら授業をつくっていく心づもりで主体的・積極的に授業に臨んでください。 (2) 下記の講義日程と授業内容（とくに第5回～第14回）は、受講者各位の追究の程度や議論の深化および現場での条件に応じて確定してくるので、柔軟に変更していく可能性があります。受講者相互の問題意識や興味関心の程度に応じ、さまざまな現場を紹介していく機会も適時、設けたいと考えています。文献調査にとどまらず、学外授業を実施するという可能性もあります。授業時間内での実施が困難な場合は、受講生各位と相談のうえ、検討していくことになります。 (3) 授業内の相互学習を踏まえ、可能な限り、自分の暮らすまちの社会教育計画・政策に問題意識や興味関心に向け、社会教育計画で示される課題に取り組む地域社会の多様な学びの現場（社会教育実践の現場）に足を運び、住民や住民の学びを支える人たちとともに学習を深めていく機会をつくってみてください。自分なりに学んだ内容をふりかえり、その内容を探究していこうとする姿勢や行動を、応援します。		
13. オフィスアワー	個別での質問や相談等は、各回授業終了後の時間に対応します。		

14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション:授業の進め方の説明、自己紹介、行政計画の基本理解(総合計画、部門別計画、社会教育計画)、社会教育計画の授業計画づくり	事前学習	シラバスの内容を十分理解し、この授業に臨むことを整理する。
		事後学習	本授業の3つの課題を提示する。期日までに計画的に準備し、仕上げてくる。
第2回	社会教育計画とは何か(計画の手順、対象、現状把握、課題設定、目標、計画内容、期間、自己点検、評価等)	事前学習	社会教育計画の授業計画を策定してくる。
		事後学習	配布資料をよく読み、社会教育計画策定の手順や方法に関する理解を深める。
第3回	検討事例とする基礎自治体の社会教育計画調査(1)	事前学習	検討事例とする基礎自治体の社会教育計画を持参する。
		事後学習	読み進めた社会教育計画のポイントをふりかえり、疑問点などをまとめてくる。
第4回	検討事例とする基礎自治体の社会教育計画調査(2)	事前学習	検討事例とする基礎自治体の社会教育計画を読んでくる。
		事後学習	読み進めた社会教育計画のポイントをふりかえり、疑問点などをまとめてくる。
第5回	検討事例とする基礎自治体の社会教育計画調査(3) / 現地見学・調査に向けた訪問先候補地の選定	事前学習	これまでの授業をふりかえり、各自で訪問先候補を挙げてくる。
		事後学習	期末課題作成に向けたグループ作業を進めていく。
第6回	自分の暮らすまちの社会教育計画の調査報告	事前学習	自分の暮らすまちの社会教育計画を持ち寄り、内容を説明できるようにしてくる。
		事後学習	読み進めた社会教育計画のポイントをふりかえり、疑問点などをまとめてくる。
第7回	現地見学・調査に向けた準備(1)	事前学習	これまで学んできた社会教育計画との関連(疑問点など)を意識し、各自が見学・調査しようと思った訪問先への調査事項を考えてくる。
		事後学習	メンバー各位の調査事項を共有する。
第8回	現地見学・調査(1) ※可能な環境の場合、学外授業の可能性あります。	事前学習	各自の調査事項をまとめておく。
		事後学習	見学・訪問して得られた知見、調査で明らかになったポイントを整理しておく。
第9回	現地見学・調査に向けた準備(2)	事前学習	これまで学んできた社会教育計画との関連を意識し、各自が見学・調査しようと思った訪問先への調査事項を考えてくる。
		事後学習	メンバー各位の調査事項を共有する。
第10回	現地見学・調査(2) ※可能な環境の場合、学外授業の可能性あります	事前学習	各自の調査事項をまとめておく。
		事後学習	見学・訪問して得られた知見、調査で明らかになったポイントを整理しておく。
第11回	現地見学・調査に向けた準備(3)	事前学習	これまで学んできた社会教育計画との関連を意識し、各自が見学・調査しようと思った訪問先への調査・質問事項を考えてくる。
		事後学習	メンバー各位の質問・調査事項を共有する。
第12回	現地見学・調査(3) ※可能な環境の場合、学外授業の可能性あります	事前学習	各自の質問・調査事項をまとめておく。
		事後学習	見学・訪問して得られた知見、調査で明らかになったポイントを整理しておく。

第13回	期末課題作成に向けた打合せ(1) 編集作業	事前学習	各自の得られた知見や明らかになったポイント、インタビュー内容等をまとめておく。
		事後学習	メンバー各位の調査事項を共有し、期末課題作成に向けて各自の役割に取り組む。
第14回	期末課題作成に向けた打合せ(2) 修正作業	事前学習	期末課題作成に向けた宿題に取り組む。
		事後学習	メンバーで共有した期末課題の内容をふりかえり、最終調整を行う。
第15回	求められる社会教育計画とは/まとめ	事前学習	これからの時代に求められる社会教育計画の視点・方法を考えてくる。
		事後学習	出来上がった期末課題の内容をふり返る。社会教育計画づくりのあり方と課題を共有する。